

第26区(成田)地域計画

(令和5年度から令和9年度まで)

明るく 元気で 笑顔かがやく
豊かな地域づくり

— ふれあい わけあい たすけあい —

令和5年3月

～ 目 次 ～

	ページ
はじめに	1
I. 地域の概要	2
II. 地域の現状と課題	3
III. 地域の将来像	5
IV. 地域計画の基本方針	5
V. 地域計画推進体制	8
VI. 活動計画	9
VII. 施設計画	15

(資料)

- ・ 地域計画策定委員会

はじめに

柴田町では、令和元年度から令和8年度までの8年間を計画期間とした「第6次柴田町総合計画」を策定し、町の将来像を「笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち」とする町政運営の指針として定めております。

第26区（成田）地域計画は、町と地域が対等・協力関係のもと地域の自己決定・自己責任により、地域の課題を解決し、地域に住むみんなが「自主・自律」のもとに活動を行うための地域づくりの方針として策定するものです。

計画と期間

地域計画は、地域の将来像を実現するための地域づくり実践計画です。期間は、令和5年度から令和9年度までの5ヵ年です。

策定体制

地域計画策定委員会を令和4年6月に、地域において様々な要職を兼務している区役員で組織しました。令和5年度から実践する計画については、前期5カ年の実践経過を検証するとともに、新たな今日的課題の意見集約を図りながら、これまでの事業の継続性を踏まえ、計画素案を策定し、区総会において承認決定するものです。

I. 地域の概要

成田地区は、四方を標高200mの山地に囲まれている盆地の形状を成しています。里の地形は、平坦部がくの字となり、横断するように県道52号線と五間堀が位置しています。西側中腹には八幡神社が鎮座し、区民の氏神として信仰を集めています。また、中央部の山際には、区民の菩提寺である荒神山長照院があります。本尊は地蔵菩薩であり、秋には地蔵尊まつりが行われ、近郷近在から多くの参拝客が訪れています。

令和4年8月末の人口は261人で、男135人、女126人となっています。世帯数は93世帯で1世帯平均の家族の人数は3人程度の少人数家族となっています。明治初めには389人、昭和36年頃の最も人口が多かったときには624人、平成の初めでは、437人、そして現在の令和4年では、261人と人口減少の傾向にあります。また、若年層が少なく、高齢化率の高い地域となっており、今後その傾向はますます進むものと予想されています。

歴史的に文献に出てくるのは「御段銭帳」（1538年）に「一、仁十貫文なり田」とあるもので、当時成田は村田氏の所領でありました。「晴宗公采地下賜録」（1553年）によれば、1542年まで、成田三郎左衛門が東沼辺を、成田丹後守が小成田を領していたと記録されています。1590年4月、伊達政宗は小田原参陣に際し、弟小次郎を謀反のかどで殺害、傅役小原縫殿助は謀殺され、嫡子助五郎、次郎助左衛門は5年ほどの牢人生活を余儀なくされています。その5年間、この兄弟はどんな縁があっただろうか、この成田村で過ごしています。船岡の原田氏を経て、1661年から1681年までは岩沼の田村氏、以降は柴田氏の所領となりました。

明治の時代に入り、成田村から槻木町、そして昭和32年には槻木町と船岡町が合併して柴田町となり、柴田町大字成田の地名に至っています。

産業は、稲作を主にした農業が主であり、多くは兼業農家です。

国が進めた米の生産過剰による調整策をきっかけに、昭和44年から水田を利用した菊栽培が始まりました。当時この地域でも多くの若者が家業を手伝うかたわら、近隣の会社や工場に働きに出ていましたが、農業だけで十分生活できる作物として浸透し、徐々に若い生産者が増えていきました。現在では、宮城県内有数の花生産地となり、「柴田の花」という銘柄も定着しています。

Ⅱ. 地域の現状と課題

意見集約をまとめた結果、地域の現状と課題は次のとおりです。

環境

◇ 良いところ

1. 自然環境に恵まれている。

◇ 悪いところ

1. 耕作放棄地が年々拡大し、雑草の繁茂が著しく、景観を損ねている。
2. 五間堀や低地排水路の河床の泥が一部に堆積している箇所が散見される。
3. 春と夏の用排水路の草刈り（江払い・江刈り）作業の参加者が高齢化し、作業が困難になってきている。
4. 県・町管理地の雑草が繁茂している。

福祉

◇ 良いところ

1. 地域内の相互扶助精神が残っている。

◇ 悪いところ

1. 少子高齢化が進み、人口減少から地域の活力が著しく低下している。
2. 最近、ひとり暮らし高齢者世帯が散見するようになった。

防災・防犯・交通

◇ 良いところ

1. 地区内を県道亘理村田線が縦断し、他の地区に比べ交通が至便である。
2. 南北には、町道船迫2号線と岩沼に通じる農免道路が接続し、交通のアクセスが良い。

◇ 悪いところ

1. 防犯灯が少ない。
2. 県道や町道の草刈がされていない。
3. 県道亘理村田線の交通量（特に朝夕）が年々増加の一途にある。
4. 県道・町道の通行車両の交通マナーが悪い。
5. 年々、空き家が増加している。（平成29年11月1日現在：8世帯で本屋8棟、物置等10棟）
6. 地区内に土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定（急傾斜地の崩壊危険箇所が存在し、異常気象や地震等時には不安である。（令和4年9月1日現在：18箇所）

生活

◇良いところ

1. 地域内の相互扶助精神が残っている。

◇悪いところ

1. 人口が増えない。子供が少ない。
2. ゴミ出しのマナーが悪い。
3. 春と夏の用排水路の草刈り（江払い・江刈り）作業の参加者が高齢化し、作業が困難になってきている。
4. 郵便ポストがない。
5. 町道の除雪対策が十分でない。

産業

◇良いところ

1. 農業が主要産業である。
2. 農業従事者が高齢化しながらも農地保全が維持できている。

◇悪いところ

1. 農業の後継者が不足してきている。
2. 農地の基盤整備が遅れている。
3. イノシシによる農作物と水田畦畔等への被害が深刻化している。
4. 耕作放棄地が年々拡大し、雑草の繁茂が著しく、景観を損ねている。
5. 五間堀や低地排水路の河床の泥が一部に堆積している。
6. 地区内に働く場所（職場）がない。

Ⅲ. 地域の将来像

地域づくりスローガン

明るく 元気で 笑顔かがやく豊かな地域づくり
— ふれあい わけあい たすけあい —

Ⅳ. 地域計画の基本方針

第26区民である私たちが将来にわたって生活していくこの地域において、人と人の結びつきを大切にしながら、住みやすい地域にしていくため、お互いに協力し合って地域づくりに取り組むことが重要です。

「明るく元気で笑顔かがやく豊かな地域づくり—ふれあい わけあい たすけあい—」をスローガンに、次の重点事項により、地域づくりを実践します。

重点事項

1. 地域コミュニティの活性化

明るく健康で元気ある地域にしましょう

2. 暮らし・いのちを守る

防災・減災・防犯・防火に努め、安心安全な地域にしましょう

3. 生活基盤の安定・充実

河川・道路など生活基盤が整備された快適な地域にしましょう

4. 助け合いと相互扶助

子どもや高齢者にやさしく支え合う地域にしましょう

5. 生活インフラ機能の発揮

産業基盤の整った活力ある地域にしましょう

6. 環境美化とリサイクルの推進

散乱ゴミのないきれいな地域にしましょう

7. 行政・他団体との連携

国の地方創生や町のまちづくり事業へ積極的に参加・参画をしましょう

実践事項

1. 明るく健康で元気ある地域にしましょう

地域づくりの根源は、私たち区民が健康で元気に生活できることであり、健康増進と介護予防の正しい知識と実践により、明るく健康で元気ある地域づくりを目指します。

- ① 柴小学区運動会やふるさと交流のつどいへの参加
- ② 健康教室や介護予防教室の開催（健康寿命と認知症対策）

2. 防災・減災・防犯・防火に努め、安心安全な地域にしましょう

区民一人ひとりの心がけと環境づくりに努め、災害や犯罪のない安心安全な地域づくりを目指します。

- ① 土砂災害の危険の周知と警戒避難体制の構築（自主防災組織活動）
- ② 火災に備える消火器や火災警報器等の設置促進
- ③ 消火栓の適正な設置の促進
- ④ 防災用品等の補充・整備
- ⑤ 防犯灯の適正配置及び保守点検
- ⑥ カーブミラーや道路標識等の交通安全施設の適正配置及び保守点検

3. 河川・道路など生活基盤が整備された快適な地域にしましょう

河川、道路、公共施設の機能が十分保たれ、快適な地域づくりを目指します。

- ① 江払い・江刈りの実施
- ② 集会所の施設維持管理
- ③ 旧成田分館跡地の管理

4. 子どもや高齢者にやさしく支え合う地域にしましょう

子どもが健全に育つ環境や高齢者が安心して生活できるやさしく支え合う地域づくりを目指します。

- ① 子ども会活動の支援
- ② 子ども会育成活動への参加協力
- ③ 子どもへの伝統文化の伝承
- ④ 子どもへの声がけ見守り活動

- ⑤ いこいの日の事業の開催（高齢者間の親睦交流を深める）
- ⑥ 区民交流会の開催（全区民対象に親睦交流の推進）
- ⑦ 元旦祭（新春交歓会）の開催
- ⑧ 高齢者（ひとり暮らし）などへの声かけ運動
- ⑨ 区民相互のあいさつ・声かけ運動の推進
- ⑩ 柴小学区ふるさと交流のつどいへの参加
- ⑪ 寺・神社行事への協力（寺地蔵尊まつり・神社祭典）

5. 産業基盤の整った活力ある地域にしましょう

主たる産業である農業への関心と保全により産業基盤の充実を図ることによって、活力ある地域づくりを目指します。

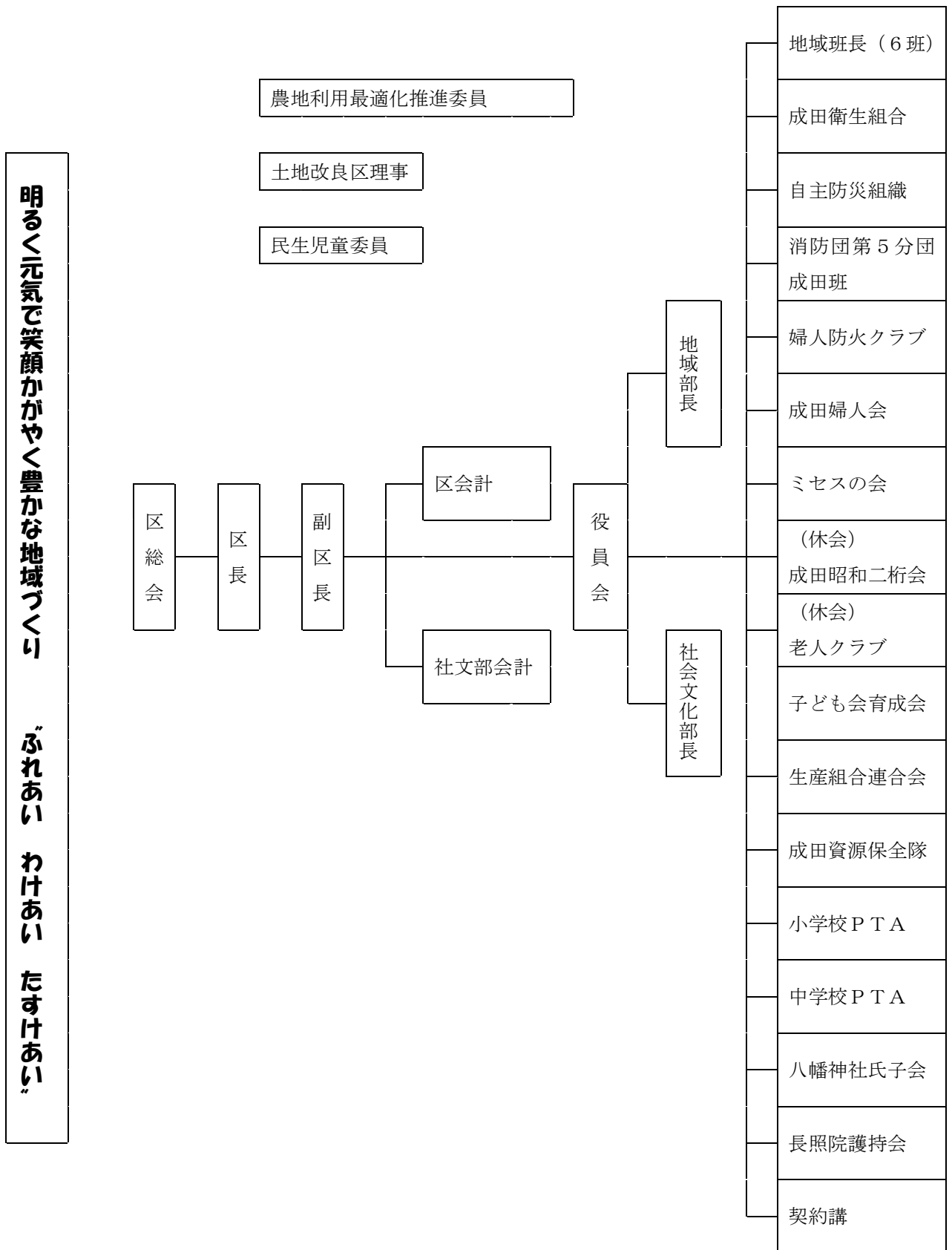
- ① 農道の保全活動（草刈り、砂利敷き）
- ② 農業用ため池の保全活動（草刈り）
- ③ 農業施設の巡視
- ④ 有害鳥獣被害対策（イノシシ対策）
- ⑤ 圃場整備事業の推進

6. 散乱ゴミのないきれいな地域にしましょう

環境美化活動により地域内に散乱ゴミのないきれいな環境を目指します。

- ① 道路の清掃活動
- ② ゴミ出しのマナーの徹底及びゴミ集積所の衛生管理
- ③ リサイクル運動（資源回収等）
- ④ 家庭消毒用薬剤散布
- ⑤ 公園・空き地等の清掃活動
- ⑥ 花いっぱい運動の推進

V. 地域計画推進体制



資料1 地域内の各種団体の活動概要

団体名等	主な活動概要
成田婦人会	婦人の教養向上と会員相互の親睦融和と交流を目的として、地域貢献活動を行っている
成田ミセスの会	これからの地域づくりを担うヤングミセスとして、教養向上と会員相互の親睦融和と交流を目的として、地域貢献活動を行っている
成田昭和二桁会 (休会)	これからの地域づくりを担う後継者として、会員相互の親睦融和と交流を目的として、地域貢献活動を行っている
成田老人クラブ (休会)	地域に生活する高齢者として、地域づくりへの参加と会員相互の親睦融和と交流目的に活動を行っている
成田子ども会育成会	地域子ども会活動に対し、育成活動を通じて青少年の健全育成への支援を行っている
成田農業生産組合連合会	農家の連帯と協力関係をもとに、生産基盤の強化と図りながら、農家生活の充実発展を目指している
柴田小学校PTA成田支部	小学校の児童をもつ親どうしが、会員相互の親睦融和と交流を通して、子どもの教育環境の健全化を図る
槻木中学校PTA成田支部	中学校の生徒をもつ親どうしが、会員相互の親睦融和と交流を通して、子どもの教育環境の健全化を図る
成田八幡神社氏子会	地区の氏神である成田八幡神社の社殿等の施設整備と神社行事を実施することにより、敬神精神の醸成を図る
長照院護持会	地区民の菩提寺である荒神山長照院の環境整備を図るとともに、常に檀家に親しまれる寺院であり続けるよう行事に積極的に参加に努めている
成田婦人防火クラブ	家庭の台所をあずかる主婦として常に防火意識をもち、地域から火災を出さないをモットーに防火活動を行っている

IV 活動計画

項番	分野	事業名	活動主体	目標と活動内容	事業実施スケジュール(年度)					協働団体等	備考
					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
1-1	健康	柴小学区運動会への参加	区社会文化部	柴田小学校と地域づくり推進協議会との合同運動会を実施し、運動をとおして健康増進と柴小学区内住民の親睦融和を図る。	○	○	○	○	○	地域づくり推進協議会	
1-2	健康	健康教室の開催	区社会文化部	町と合同で、健康教室を開催し、健康意識の高揚を図り、地域ぐるみの健康推進に努める。	○	○	○	○	○	町	
1-3	健康	介護予防教室の開催	民生委員 区社会文化部	町と合同で、介護予防教室を開催し、介護予防意識の高揚を図り、地域ぐるみの高齢者の福祉増進に努める。	○	○	○	○	○	町	
2-1	防災・防犯・防火	防災用品等の補充・整備	区地域部	災害の拠点になる集会所に備える必要な機器、用品の整備と不備なものは随時補充を図る。	○	○	○	○	○	消防署	成田集会所
2-2	防災・防犯・防火	県道・町道交通車両のマナー啓蒙看板設置	子ども会育成会	県道・町道に交通安全啓もう看板を設置し、運転手への交通安全県も意識の啓もうを図る。	○	○	○	○	○	小中PTA	主に通学路や生活道路
2-3	防災・防犯・防火	緊急災害対策研修会	区自主防災組織	緊急災害対策研修会を毎年1回開催し、区民の防災意識の高揚を図る。	○	○	○	○	○	町 消防署	
2-4	防災・防犯・防火	消火器・火災報知器等の設置促進	婦人防火クラブ	年1回、消火器の設置促進、薬剤詰め替えの指導を行う。また、火災報知器の設置及び定期点検を推進する。	○	○	○	○	○		
2-5	防災・防犯・防火	防犯灯の保守点検	区地域部	防犯灯が正常に機能しているか、日常的に保守点検する。	○	○	○	○	○	町	
2-6	防災・防犯・防火	土砂災害危険対象地域の対応	区自主防災組織	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定を対象に、異常気象や地震等時の防災対応に心がける。	○	○	○	○	○	県 町	
2-7	防災・防犯・防火	空き家対応	区地域部	年々空き家が増加していることから、日ごろの巡視により防火、防犯等に努める。	○	○	○	○	○	町 当該縁故者	
2-8	防災・防犯・防火	カーブミラー等交通安全施設の保守点検	区地域部	カーブミラーやガードレール等の施設が正常に機能しているか、日常的に保守点検する。	○	○	○	○	○	町	
3-1	生活基盤	江払い・江刈りの実施	資源保全隊	春と夏の江払い・江刈りを行い、地域内の排水路の維持管理を行う。	○	○	○	○	○		
3-2	生活基盤	集会所の維持管理	区地域部	集会所が適正に利用されるよう、維持管理及び備品の整備に努める。	○	○	○	○	○	町	
3-3	生活基盤	旧成田館用地の管理	区地域部	年2回の草刈りを行い、旧成田分館の跡地が荒廃しないよう管理に努める。	○	○	○	○	○	町	
4-1	ふれあい、支え合い	子ども会活動	子ども会育成会 小中PTA	子どもの健全育成のための活動	○	○	○	○	○		
4-2	ふれあい、支え合い	子ども会育成活動	子ども会育成会 小中PTA	子ども会育成会の各種事業に参加協力する。	○	○	○	○	○		
4-3	ふれあい、支え合い	伝統文化の伝承	八幡神社	子どもたちに地域の伝統文化を体験・伝承していくために、神社まつり時に「子ども神輿」の渡御を行う。	○	○	○	○	○	子ども会育成会 小中PTA	

IV 活動計画

項番	分野	事業名	活動主体	目標と活動内容	事業実施スケジュール(年度)					協働団体等	備考
					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
4-4	ふれあい、支え合い	声がけ見守り活動	子ども会育成会 小中PTA	子どもが事件事故に遭遇しないよう、常に声がけ見守りを行う。	○	○	○	○	○		
4-5	ふれあい、支え合い	敬老会	区社会文化部	高齢者の長期にわたる社会貢献への感謝と敬老の意を表するとともに、長寿を祝う会を柴田小学校学区内の地域と共同で、毎年1回開催する。	○	○	○	○	○	町・地域づくり推進協議会	
4-6	ふれあい、支え合い	いこいの日事業	区社会文化部	高齢者の参加になる「羽山サロン」を定期的で開催し、高齢者の介護予防を図る。	○	○	○	○	○	町社会福祉協議会	
4-7	ふれあい、支え合い	区民交流会(全区民対象に親睦交流の推進)	区社会文化部	恒例となっている秋の「成田レクリエーション大会」を開催し、全区民対象に親睦交流の推進を図る。	○	○	○	○	○		
4-8	ふれあい、支え合い	元旦祭(新春交歓会)	区役員 八幡神社	年初めに当たり、氏神様へ参拝し、新年を祝うとともに区民の親睦交流を図る。	○	○	○	○	○		
4-9	ふれあい、支え合い	高齢者(ひとり暮らし)などへの声がけ運動	民生委員 区社会文化部	近所への声がけを心がけ、一人暮らし家庭には定期的に訪問し、ふれあいのある地域づくりを推進する。	○	○	○	○	○	町 近隣住民	
4-10	ふれあい、支え合い	あいさつ・声がけ運動の推進	子ども会育成会 小中PTA	明るく元気な地域づくりの実現のため、朝のあいさつと声がけ運動を推進する。	○	○	○	○	○		
4-11	ふれあい、支え合い	柴小学区ふるさと交流のつどいへの参加	区社会文化部	芸能発表をとおして柴小学区内住民と区民相互の親睦融和を図る。	○	○	○	○	○	地域づくり推進協議会	
4-12	ふれあい、支え合い	寺・神社行事への協力(寺地蔵尊まつり・神社祭典)	八幡神社氏子会 長照院護持会	地域のコミュニティーは、古来より氏神や菩提寺の行事を通して行なわれてきたことから、寺・神社行事への協力をしながら地域内の親睦融和の推進を図る。	○	○	○	○	○		
4-13	ふれあい、支え合い	集会所の備品整備	区地域部	区内の集会や「いこいの日事業」に参加する高齢者の集会所利用が快適環境となるよう備品等の整備を図る。	○	○	○	○	○		
5-1	農業基盤	耕作放棄地の草刈り	資源保全隊 生産組合連合会	耕作放棄地の雑草の繁茂がひどく、周辺農地への影響また環境美化上、問題となっている。	○	○	○	○	○		
5-2	農業基盤	農道の保全活動	資源保全隊	農業基盤である農道を保全するため、草刈と砂利敷きを実施する。	○	○	○	○	○	土地改良区	
5-3	農業基盤	農業用ため池の保全活動	資源保全隊	農業基盤である農業用ため池を保全するため、草刈を実施する。	○	○	○	○	○	町	
5-4	農業基盤	農業施設の巡視	資源保全隊	農業基盤施設である用水、排水施設等の保全するため、パトロールを実施するとともに、適宜措置を講じる。	○	○	○	○	○	町 土地改良区	
5-5	農業基盤	有害鳥獣被害対策	対策協議会 資源保全隊	有害鳥獣であるイノシシの農地に対する影響を軽減するため、電柵等を設置と維持管理に努める。	○	○	○	○	○	町	地域内農地
5-6	農業基盤	圃場整備事業の推進	成田ほ場整備推進協議会	成田地域の将来を見据えた農業生産基盤向上のため、補助事業の採択により圃場整備事業の推進を図る。	○	○	○	○	○	宮城県 柴田町	
6-1	生活環境	道路の清掃活動	区地域部	道の日(8月)に伴う区内主要道路と各家庭周辺の道路の一斉清掃を実施する。	○	○	○	○	○	町	

IV 活動計画(事業費内訳)

項番	分野	事業名	活動主体	目標と活動内容	事業費(千円)						費用負担			主な費用/備考	
					計	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	町	交付金	地域		
4-4	ふれあい、支え合い	声がけ見守り活動	子ども会育成会 小中PTA 区民全員	子どもが事件事故に遭遇しないよう、常に声がけ見守りを行う。											
4-5	ふれあい、支え合い	敬老会	区社会文化部	高齢者の長期にわたる社会貢献への感謝と敬老の意を表するとともに、長寿を祝う会を柴田小学校学区内の地域と共同で、毎年1回開催する。	600	120	120	120	120	120		○	○	記念品・茶菓代	
4-6	ふれあい、支え合い	いこいの日事業	区社会文化部	高齢者の参加になる「羽山サロン」を定期的開催し、高齢者の介護予防を図る。	150	30	30	30	30	30			○		
4-7	ふれあい、支え合い	区民交流会(全区民対象に親睦交流の推進)	区社会文化部	恒例となっている秋の「成田レクリエーション大会」を開催し、全区民対象に親睦交流の推進を図る。	750	150	150	150	150	150			○	区民レク大会	
4-8	ふれあい、支え合い	元旦祭(新春交歓会)	区役員 八幡神社	年初めに当たり、氏神様へ参拝し、新年を祝うとともに区民の親睦交流を図る。	400	80	80	80	80	80			○		
4-9	ふれあい、支え合い	高齢者(ひとり暮らし)などへの声がけ運動	民生委員 区社会文化部	近所への声がけを心がけ、一人暮らし家庭には定期的に訪問し、ふれあいのある地域づくりを推進する。											
4-10	ふれあい、支え合い	あいさつ・声がけ運動の推進	子ども会育成会 小中PTA 区民全員	明るく元気な地域づくりの実現のため、朝のあいさつと声がけ運動を推進する。											
4-11	ふれあい、支え合い	柴小学区ふるさと交流のつどいへの参加	区社会文化部	芸能発表をとおして柴小学区内住民と区民相互の親睦融和を図る。	100	20	20	20	20	20		○	○		
4-12	ふれあい、支え合い	寺・神社行事への協力(寺地蔵尊まつり・神社祭典)	八幡神社 氏子会 長照院 護持会	地域のコミュニティーは、古来より氏神や菩提寺の行事を通して行なわれてきたことから、寺・神社行事への協力をしながら地域内の親睦融和の推進を図る。									○		
4-13	ふれあい、支え合い	集会所の備品整備	区地域部	区内の集会所や「いこいの日事業」に参加する高齢者の集会所利用が快適環境となるよう備品等の整備を図る。	250	50	50	50	50	50		○	○		
5-1	農業基盤	耕作放棄地の草刈り	資源保全隊 生産組合連合会	耕作放棄地の雑草の繁茂がひどく、周辺農地への影響また環境美化上、問題となっている。	500	100	100	100	100	100	○		○		
5-2	農業基盤	農道の保全活動	資源保全隊	農業基盤である農道を保全するため、草刈と砂利敷きを実施する。	2,000	400	400	400	400	400	○		○		
5-3	農業基盤	農業用ため池の保全活動	資源保全隊	農業基盤である農業用ため池を保全するため、草刈を実施する。	1,500	300	300	300	300	300	○		○		
5-4	農業基盤	農業施設の巡視	資源保全隊	農業基盤施設である用水、排水施設等の保全するため、パトロールを実施するとともに、適宜措置を講じる。							○		○		
5-5	農業基盤	有害鳥獣被害対策	対策協議会 資源保全隊	有害鳥獣であるイノシシの農地に対する影響を軽減するため、電柵等を設置と維持管理に努める。	2,125	425	425	425	425	425			○		
5-6	農業基盤	圃場整備事業の推進	成田ほ場整備推進協議会	成田地域の将来を見据えた農業生産基盤向上のため、補助事業の採択により圃場整備事業の推進を図る。									○		
6-1	生活環境	道路の清掃活動	区地域部	道の日(8月)に伴う区内主要道路と各家庭周辺の道路の一斉清掃を実施する。	750	150	150	150	150	150	○		○		

Ⅶ 施設計画(事業費内訳)

項番	図面番号	事業種別	優先順位	路線名・箇所名	事業費(千円)						費用負担			主な費用／備考
					計	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	町	交付金	地域	
1		防犯灯の設置	2	通学路・生活道路	550	110	110	110	110	110	○	○	○	LED防犯灯10基設置
2		カーブミラー等交通安全施設の設置	5	生活道路							○			カーブミラー3基設置
3		消火栓の適正配置の促進(1基)	3	上地区							○			町へ要望
4		農業用ため池の補修	4	入・野竹内・東田入堤							○		○	町へ要望
5		有害鳥獣被害対策	1	区内全域	2,000	400	400	400	400	400	○		○	電柵等設置の維持管理 更新費用
6		町掲示板の適正配置の見直し	6	集会所・旧成田分館前他							○			町へ要望

「活動計画」毎に事業費を記述します。
 項番・分野・事業名は「活動計画」と同じく記述すること。